

第六次大野市総合計画策定幹事会（令和元年度第2回）意見の取りまとめ

	安全安心なまち部会	くらし環境部会	産業部会	地域・行政経営部会	教育部会
ありたい まちの姿	「誰もが主役のまちづくり」 安全安心で暮らしやすいまちづくりを担う担い手が、市民皆さんが主役になるまちづくり	「結の心でつながるやすらぎのまち」	「若者がイキイキと暮らせるまち大野」	・人と人とのつながりがある、やりがいがある、にぎわいがあるといった住むことに関する、地域に関するもの ・安心で、一度外に出て戻ってこれて、戻ってきて継続的に住めるまち	「イキイキと結でつながり支え合う大野人」
課題	・建設業界が人手不足で、人材がなかなか育たない。 ・除雪オペレーターが不足している。 ・災害が増加しているが、消防団が人手不足。 ・公共交通機関：越美北線が存続の危機にある。 ・人手不足を補うための外国人労働者受け入れの体制が整っていない。 ・空き家が増えている。	・全世代の健康づくり ・人材、担い手不足、人と人とのつながり ・きれいな環境を未来へ残す ・かかりつけ医の充実 ・空き家、空き地が多くなっている。	・働きやすい環境の整備 ・農業インフラの老朽化 ・鳥獣害が多い ・若者向けの観光資源が不足 ・観光客を周遊させる（周遊観光）	○地域づくり ・つながり、地域活動の低下 ・少子高齢化 ・地域活動の弱体化 ○行財政改革 ・財政不安 ・財政不安があり住みたいと思わない ・情報が共有できていない ・きちんと情報が伝わっていないことで起きる不安もある	・人口減少 ・児童生徒の減少 ・指導者の減少（生涯学習、スポーツ、文化伝統・保存）
必要となる 取り組み	①人材の確保と育成 ・質と量の確保と、人数を増やすこと。Uターンを増やす、外国人研修生を受け入れる。外国人は市民として生活していくために教育していく必要がある。 ・学校再編が大きな問題。再編するとともに、高校の専門課程を存続させていくことが必要。 ②自助と共助 ・当事者意識が欠落しているので。自助が基本であって、自分ができることを少しでもおこなう。このことが共助につながる。今の共助は区長さんだのみになっている。少しでも一人一人ができることを行うことが必要。 ③安全・安心で暮らしやすいまち ・中部縦貫道は満足度が高いが、国道158号は目に見えた進捗がない。この整備が筆頭に挙げられる。 ・景観を維持していく、道路に草が生えているということについては、自助を共助で補えるのではないか。	・かかりつけ医としての機能の維持。 ・権利擁護と地域のネットワークの連携 ・上下水道の整備 ・ゴミや雑草を市民みんなで取り除く。 ・高齢者の力を発揮できる取り組み ・世代間交流、子ども食堂、地域の人が気軽に集える場所作り	・子育て充実による職場環境の改善 ・担い手づくり ・熊やイノシシが好む食べ物を開発する ・エコグリーンツーリズムの整備 ・ダムインフラツーリズムや鉄道ツーリズムなど新たな観光資源の発掘 ・農地など周辺部の観光資源の掘り起こしと周遊の促進	○地域づくり ・今やっていること、昔からやっていることを継続して行う ・地域でいる人たちが声かけをして、その人たちが関われる方法を探りながら取り組む ○行財政改革 ・不安要素である借金を減らす ・現在どういう財政状況なのかを見える化する ・解消するための数値的な目標を持つ	・いじめ、不登校、虐待防止に対する地域支援 ・家庭、地域、学校の連携 ・参加しやすい生涯学習 ・地域を支えるリーダーの育成 ・継続できる環境づくり ・生涯を通じて学び続ける環境 ・学校や地域での教育の一番根っことなる家庭教育に対する支援が必要

第六次大野市総合計画策定幹事会（令和元年度第2回）意見の取りまとめ

	安全安心なまち部会	くらし環境部会	産業部会	地域・行政経営部会	教育部会
目指す方向性	人づくりが重要。人づくりをした上で、その人たちが助け合うことが、まちづくりにつながる。	・地域共生社会 ・子どもから高齢者まで、現在は高齢者を対象として、地域包括ケアシステムがあるが、子どもから高齢者まで幅広い世代を含めた幅広い地域包括ケアシステムができるとよい	・若者が大野で働きたくなる環境 ・鳥獣害対策をプラスに捉えた農業振興 ・一人一人が観光に目を向け、市民と市が協働しながら自主的に市民が案内できる大野になる ・大野市に隣接する地域（石徹白、白鳥、郡上八幡、上味見など）と連携し、観光客を連れてくる	・活動の継続、声かけ、人の関わりを増やしていくことで地域を再構築する ・市民一人一人が関心を持って意識を変えていく ・健全財政に戻るよう努めていく	・安心して通える学校づくり ・確かな学力を育む学校づくり ・さらなる社会教育を通じて地域づくりに参加する人を育てる
キーワード・キャッチフレーズ	・「豊かさ」 ・理想のまちづくりをするためには「愛」が必要	・何かをするためには、「エネルギー」がなければならない ・心の豊かさ	・豊かな ・キラリと輝くまち	・わくわく ・住み続けられる ・人とのつながり ・バトンタッチ ・ほこり ・健全な大野市をバトンタッチ ・住み続けたい ・大好き大野へ	・人口減少、高齢化は共通している→しょうがないと受け入れ、元気に頑張るという方向が良い ・「つながる」というキーワードを大事にしたい